

## 生きてきた地域は違うが、同じ思いで生きている

7月29日から31日の3日間、川崎市ふれあいサマーキャンプ(※)で、宮城県涌谷町に行ってきました。涌谷町は、今年度から新たに川崎市との交流が始まった自治体です。その記念すべき第1回サマーキャンプに参加した子どもたちの感想をほんの少しですがご紹介しましょう。

- 初めて東北に行った私。景色が一面田んぼで、空気がおいしくて、同じ日本なのに、違う世界に来ているようでした。
- 涌谷町の人々は、木や植物などを大切に育てています。とても自然に関心を持っているいい町です。また、みんながとても人にやさしくて、心があたたまります。
- 涌谷町の「わんぱく塾」の子どもたちとカレーを作ったり、カヌーを体験したりして交流することができました。また、婦人会の人たちとも交流し、私も手伝いを積極的にすることができました。私は、このサマーキャンプで人と交流する喜びを知りました。

1日目のメインは、農家体験です。シャベルで掘るたびに現れるたくさんのジャガイモに歓声を上げる子どもたち。迷子になりそうなほど広いブルーベリー畑で甘酸っぱさを堪能する子どもたち。限りなく広がる水田のど真ん中で採れたてのトウモロコシをほおぼる子どもたち。こんな幸せそうな顔を皆さんにも見ていただきたいかったです。

また、夜には、「涌谷太鼓」や「祭り・WAKUYOSA 舞桜」などの地域の文化を鑑賞したり、地元の方と一緒に太鼓をたたいたり、踊ったりしました。このような活動を通して、子どもたちは、知らなかった人でも「安心して話して大丈夫」という気持ちを持ちました。

2日目は、涌谷町の「わんぱく塾」の子どもたちとも交流が始まりました。一緒に森林の散策やサワガニ獲り、そして、婦人部の方々も加わって、カレー作りが始まります。午後のカヌーの体験をする頃には、川崎の子どもか涌谷の子どもか見分けが付きません。

3日間の交流を通して、子どもたちは、生きてきた地域の自然や文化の違いを感じながら、人があたたかくつながり合って生きていきたいという思いは同じなのだということを学んでいきました。

皆様も、涌谷町に行ってみたくありませんか？お子さんやお孫さんをお持ちの方は、ぜひ、来年度「ふれあいサマーキャンプ」にお申し込みください。きっと、お子さんが大きな人間になって戻ってきます。

### ※川崎市ふれあいサマーキャンプ

川崎市では、青少年地域間交流事業を行っています。その活動を「ふれあいサマーキャンプ」と呼んでいます。現在、交流を行っている友好自治体は、北海道中標津町、岩手県花巻市、宮城県涌谷町、長野県富士見町、和歌山県古座川町・大地町、島根県益田市市の6つです。